

突然ですが。
今年、会えて
うれしかつた人
ランキン

1位 ごまちゃん

「まちゃんは、本当は『タテゴトあざらし』という名前で、3月初めにカナダの北部に流れてくる流水の上で出産されます。まつしろ、ふさふさなのは生まれてから2週間だけ。5年前くらいから「まちゃんに会いたい」と思っていたのびのぶ編集長は、2月のある日突然、「まちゃん…」とつぶやいてカナディアン航空の飛行機に乗り込みました。

気が遠くなるほど飛行機に乗り、最後はヘリコプターに乗って、とうとう流水の上へ。そこには「まちゃんがころころ。まちゃんだけです。氷の上をほふく前進。」まちゃんはのびのぶ編集長をお母さんと間違えて、ずりすりと寄ってきます。やっぱりカワイイ。インドで子猫を拾つて、内緒で機内に持ち込んで連れて帰ってきたドイツ人のエンジニア同様、「まちゃんを連れ帰りたくなつたのびのぶ編集長。しかし、「2週間後、お風呂で黒いあざらしが泳いでいる」とゆつくりお風呂にも浸かれないと想い直し、涙を飲んでお別れをしました。今年も行きたいなあ。

トロント・カーディナルズのトマホークが刺されました。

★鈴木その子ちゃん…なんと、その子ちゃんは、のびのぶ編集長が敬愛する日比谷クリニック・山中先生の妹さんであることが判明。山中先生とご飯を食べていたら、その子ちゃんがやつてきて一緒にご飯を食べてしまいました。でものびのぶ編集長はカリブ海で真っ黒です……。

★ジャン・アレジ・アレジや岡田監督が共同経営で始めたレストランのオープニングに、アレジがやつぱりアーチが割れてる…。主題歌を歌つていて、記者会見で来日しました。100回くらいCD聴いて「おすすめ」と記事を書いてきましたが、こんな姿の人だったとは…。

2位 あほうどり

なんとあほうどりは絶滅宣言が出されたほど、少なくなっているそうです。

それをウオッチングして、がんばれ!と応援する「アホウドリ・クルーズ」(鳥島)に行きました。へんな名前をつけられた上に羽根布団のために絶滅しそうなあほうどり…。でもあまりにも遠くを飛んでいるので、のびのぶ編集長はスズメにしか見えませんでした。今度は近くまで来て下さい。

3位 いろんな方々

99年も取材やその他で本当にたくさんの方々にお会いしました。1週間で女子アナ6人を取材したり、カツラや性病の現代事情などというなかなか興味深い分野の方にもお会いできました

(カツラ屋さんの広報のおじさんはやっぱりカツラでした。「ボラ、わからないでしよう」といきなりカツラを外され

て、言葉を失うのびのぶ編集長…。水中歩き健康法を実践している人を探して、区民ブルーに行き、ブルーのなかで「すみません。取材させてください」と普段力浮かびながら頼んだにもかかわらず、快諾してくださったおじさまもいます。ラジカル鈴木さんと

詩人さんなど素敵なメンバーが増えています。

番外編

★鈴木その子ちゃん…なんと、その子ちゃんは、のびのぶ編集長が敬愛する日比谷クリニック・山中先生の妹さんであることが判明。山中先生とご飯を食べていたら、その子ちゃんがやつてきて一緒にご飯を食べてしまいました。でものびのぶ編集長はカリブ海で真っ黒です……。

★ジャン・アレジ・アレジや岡田監督が共同経営で始めたレストランのオープニングに、アレジがやつぱりアーチが割れてる…。主題歌を歌つていて、記者会見で来日しました。100回くらいCD聴いて「おすすめ」と記事を書いてきましたが、こんな姿の人だったとは…。

のびのぶ

振り返ってイロイロ

りかかっています。とても大変な作業なのですが、スーパーナイスな高橋さんと

確かに、大学生の時、オリエンタルランド(ディズニー・ワールドの会社)を受

けたのびのぶ編集長ですが、99年はホ

モント・ジャパン)は幼稚園の子向

けのナイフス隔月刊誌です。のびのぶ編

集長もニュースやプレゼントページを

お手伝いさせてもらつて、ディズニー

ランドに取材に行つたり、『ターザン』

や『ムーラン』の映画やビデオを何度

も見たりました。ブーさんグッズに

も詳しくなりました。どうやら、今年

はブーさんがフレイクするらしいです。

そして、一昨年に引き続き、フロリ

ダのディズニー・ワールドでは2隻目の

『ディズニー・ワンダー』という船がで

きました。しつこく乗りに行つたわけ

ですが、東京ニュース通信社からディ

ズニー・クルーズとディズニー・ワー

ルドのムックを作ることになりました。

急速、美しい誌面づくりが上手な高橋

さんにお願いして、99年の秋から2人

で取材・編集・執筆(写真も!)に取

り始めます。

一見、楽しそうな

ディズニーの仕事で

すが実はかなり大変。

でもエンターテイメ

ントの最高峰だけ

も詳しく述べました。どうやら、今年

はブーさんがフレイクするらしいです。

姿勢はかなり本気。す

ばらしいアイデアや

企画は仕事で取材し

てしまします。日本

はアイススケート場やショッピ

ングモール、デッキにはバタ

ゴルフやロッククライミングの

壁などがありました。1週間の

クルーズでも退屈することな

いのはすばらしいことでしたが、

あまりにも広くて、船内を撮影

するだけでぐつたり。しかし、木

ントに楽しいお船です!「ご希

望の方はJTBまで。添乗員さ

んもナイスです。

(写真・上)をはじめ、いろんな

客船。なんと乗務員を入れると

シード」という世界で一番大きな

お船に乗れました。一番大きな

船はカリブ海で就

航した「ボイジャー・オブ・ザ

シー」という世界で一番大きな

客船。なんと乗務員を入れると

99年もディズニー・ワンダー

をはじめ、いろんな

客船。なんと乗務員を入れると

2月半ばくらいに

発売予定。行かなくて

がんばつております。

2月半ばくらいに

がんばつております。

がんばつております。